

■池田輝政 大名。豊臣秀吉から丁重に扱われ、徳川家康の娘婿となり、姫路城を大改修、“姫路宰相百万石”。

いけだてるまさ

川中島の戦終1564＝ 尾張国清洲で、織田信長家臣池田恒興の次男に生まれる。

父に従って、早くから織田信長に仕え、

織田信長入京1568＝ 4歳：

室町幕府滅亡1573＝ 9歳：

近習として従い、各地に転戦して武功を発揮、

安土教会許可1579＝15歳：\*ことに荒木村重の謀反につき、花隈城攻略に抜群の活躍をし、信長から感状を授けられる。

石山合戦終・1580＝16歳：この年、黒田孝高から姫路城を献じられた豊臣秀吉が天守閣持つ城に改造し、城下町も営む。

乱後、摂津国を領した父とともに尼崎城にいたが、

本能寺の変・1582＝18歳：本能寺の変後は、父兄と共に豊臣秀吉に仕え、父が美濃大垣城主に転封すると、同国池尻城主となる。

賤ヶ岳の戦・1583＝19歳：この年、姫路城に羽柴秀長が入る。

長久手の戦・1584＝20歳：小牧・長久手の戦いで父恒興と兄元助が戦死したため、家督を相続。大垣城主となり、

豊臣秀吉関白1585＝21歳：この年、姫路城に木下家定が入る。美濃岐阜城を与えられ、紀州雑賀攻め・佐々成政征伐に従軍、

バテリン追放令 1587＝23歳：\*九州平定戦に従軍して、羽柴侍従の称号を授かり、

刀狩海賊取締1588＝24歳：豊臣姓が与えられるなど、豊臣一族に準じて遇される。

秀吉全国統一1590＝26歳：小田原攻略後、三河国吉田に15万石を与えられ、田原城・牛久保城を支城にし、近くの二連木城を廃城。

士農工商公布1591＝27歳：

ルツ島通交・1594＝30歳：秀吉の命で、北条氏直未亡人だった家康の娘督姫を後妻に迎え、

関白秀次事件1595＝31歳：秀次事件に際しても輝政の妹で秀次の正室一の台は助命されて送り返されるなど、丁重に扱われる。

朝鮮の役では三河吉田にあつて東国警備の任にあたる一方、伏見城、豊臣秀長の嗣子秀保の居城大和国多内城の普請を勤める。

豊臣秀吉没・1598＝34歳：秀吉没後は家康と懇意になり、

関ヶ原の戦・1600＝36歳：\*五奉行の石田三成らが家康に対して挙兵すると、福島正則とともに関ヶ原の戦いの前哨戦となった岐阜城攻略に参加し、戦後には、姫路に大領を与えられ、名を輝政に改める。弟長吉に鳥取6万石が与えられる。

朱印船制始・1601＝37歳：姫路城の大改修に着手、

阿国歌舞伎始1603＝39歳：次男忠継に備前28万石、

9年かけて述べ2430万人日を投入し、

家康駿府退隠1607＝43歳：

島津琉球支配1609＝45歳：姫路城の大改修が竣工。大城下町の整備もなされ、

琉球使始・・1610＝46歳：三男忠雄に淡路6万石が与えられるなど、家康の娘婿として破格の待遇を受け、あわせて100万石近い大領を領し、“播磨宰相”“姫路宰相”“西国將軍”とまで称されるに至るが、

城内で次々と起こる妖怪事件に悩まされ、

支倉常長渡欧1613＝49歳：中風のため、姫路で没した。

世間では秀吉の呪いとも噂された。家康の娘との縁組は池田家の家格を大いに引き上げ、江戸期のみならず明治期に至ってなお池田家が繁栄する基盤となった。